



Osamu Maekawa

前川おさむ後援会

事務所／〒861-1307 菊池市片角325-1
TEL0968-24-2171 FAX0968-24-2855
http://om-k.com/ 後援会内部資料 討議資料

ご挨拶

立春の候、皆様には健やかに過ごしの事とお喜び申し上げます。
予測不可能な時代。コロナ禍も3年、まだまだ先が見えず油断できない状況です。また、ロシアによるウクライナ侵攻は許されない暴挙であり、今でも罪のない尊い命が奪われています。国連をはじめとした国際社会が国際平和の為、その機能を再度考え直す必要があるでしょう。

コロナウイルスもロシアによるウクライナ侵攻も、我々が国際社会の中で生きているという事を思い知らせました。我々の身の回りの生活物資は、すべて国際的な流通の中で生産されています。今後食料の自給体制や工業製品のサプライチェーンについても再構築が必要だと思えます。

世界シェア第一位を誇る台湾の半導体メーカーTSMCが菊陽町に進出し、すでに工事が始まっています。経済の安全保障という観点からも国策として誘致されたこの企業は、投資額1兆円、本県の産業界に対する戦後最大のインパクトであります。約1700名の新たな雇用や関連企業の進出により、周辺の交通渋滞の問題、住宅の整備、教育環境の整備等々課題はありますが、本県にとっても菊池市にとっても大きなチャンスであります。

TSMCの進出にあわせ、菊池市旭志川辺の県営工業団地にも関連企業が進出、菊池市に新たな県営工業団地(約24ha)の計画も決定しました。また以前から進めてきた中九州横断道路も、熊本市への連絡道路の計画段階評価もはじまり、九州道から大津西IC(仮称)まで約10年で開通させるよう努力してまいります。3月23日には熊本地震からの創造的復興のシンボルである新しい熊本空港ターミナルビルが開港し、かねてから懸案であった熊本空港へのアクセス鉄道も肥後大津駅からの延伸が決定し今後約12年での開通を目指します。今、熊本県は全国から注目をあつめています。「チーム熊本」による様々な政策決定・実現、特にインフラ整備は、創造的復興を軸に県下全域にて進められており、その大規模な事業では、決定してから実際に機能するまで最低でも10年以上の歳月がかかります。今後の熊本を見据え「決める責任」をしっかり果たして参ります。

自民党熊本県連会長
県議会議員 前川 収



出陣式のご案内

日時 令和5年3月31日(金)
午前10時～
場所 菊池神社

がんばれ! 菊池市
実行! 実現! 経験を未来へ。

県政報告会・総決起大会のご案内

県政報告会

日時 令和5年3月11日(土) 午後3時～
場所 泗水ホール

県政報告会・総決起大会

日時 令和5年3月23日(木) 午後7時～
場所 菊池市文化会館 大ホール

※公民館施設利用制限により、菊池地区・七城地区・旭志地区合同での県政報告会・総決起大会となっております。ご了承下さい。

皆様のご来場、心よりお待ちしております

国道325号 菊池拡幅

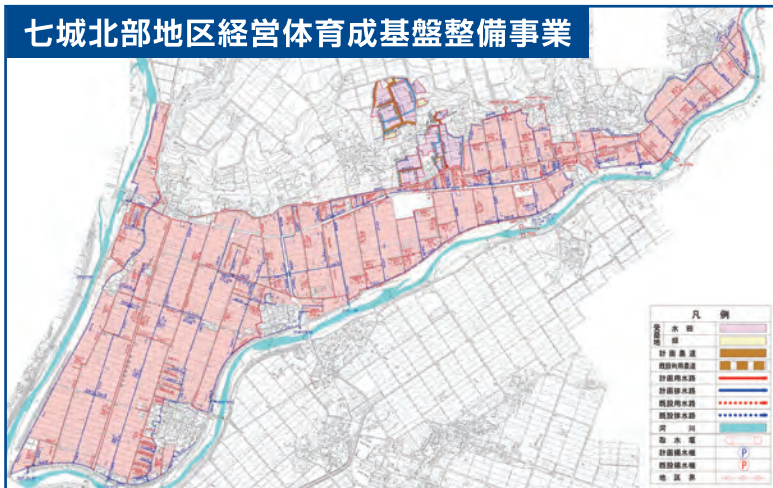


大津町の国道57号から菊池市への区間は、沿線の工業団地へのアクセス向上と市街地の交通混雑緩和を目的として、4車線化を進めてきており現在、菊池市の森北から大琳寺までの3.6km区間に取り組んでおり、バイパス区間については、令和5年度の部分供用開始を予定しています。



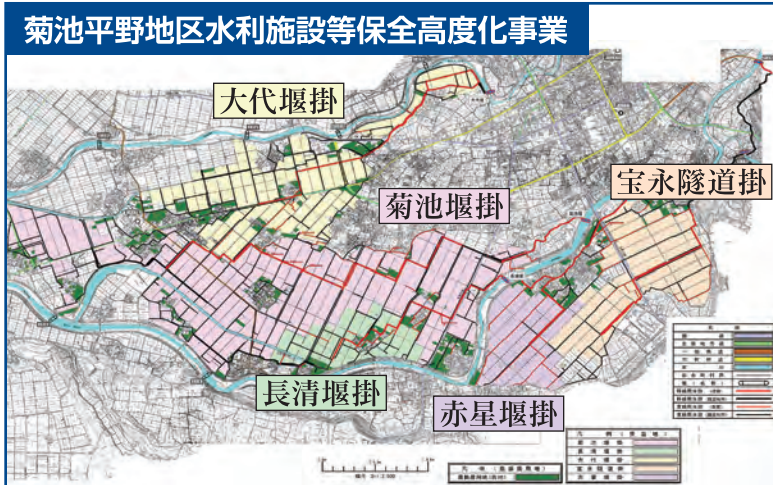
七城北部地区 農業競争力強化農地整備事業

～区画整理と用水路更新を併せて整備～



菊池市における農業基盤整備の取組状況

農業競争力の強化を図り、農村地域の国土強靱化と持続化能な農村づくりのため、整備を行っています。



菊池平野地区 水利施設等保全高度化事業

～5堰の受益農地を一括して用水路更新～

菊池市七城町高田は、荒牧地域の農地は、区画が不整形で営農や維持管理に苦慮されている状況です。また、用排水路については、老朽化による漏水等により、水管理の増大を招いていました。

このため、本事業により区画整理及び用排水路の更新整備を一体的に実施するとともに、担い手の育成や農地の集積を促進しています。

令和4年度は区画整理2.8ha及び用水路工267mの工事に取り組みました。

また、担い手への農地集積については、令和9年度までに地区の80・6%（約142ha）を集積することを目標に取り組み、目標を達成すれば地元負担金のうち75%が国より交付されることとなっています。

菊池川に設置してある、菊池堰・長清堰・宝永隧道・赤星堰、及び迫間川に設置してある大代堰から取水する受益地内の農地においては、昭和40年以降のほ場整備事業により農業生産基盤の整備が行われてきました。しかし、基盤整備後約40年が経過し、幹線・支線用水路の老朽化による漏水等により、営農に支障を来している状況です。

その為、令和3年度から受益地内の幹線・支線用水路の改修工事に着手し、令和12年度完了（予定）をめざして取り組んでいます。

また、担い手への農地集積については、令和12年度までに地区の80・7%（約537.6ha）を集積することを目標に取り組み、目標を達成すれば地元負担金のうち75%が国より交付されることとなっています。

県道辛川鹿本線 合志川橋架替



1942年（昭和17年）に架設された合志川橋は、2012年（平成24年）7月の熊本広域大水害を契機として、架け替えを進めてまいりましたが、多くの皆様の協力のおかげで2022年（令和4年）9月に開通することができました。

新しい橋は橋脚の数を減らすなど、洪水に対しての安全性を高めており、今後は地域の皆様に親しまれ、永く利用されるものと期待しています。